

# 活かせ住民の底力

行政と住民のキャッチボールで住みよいまちをつくるには

5月11日(日)14:30~17:45

会場: 駒本小学校体育館

行政と住民の協働実践事例報告

パネル・ディスカッション

Q & A

パネリスト: **成澤廣修氏**(文京区長)

**榊原智子氏**(読売新聞東京本社

生活情報部記者、内閣府少子化社会対策大綱検討会委員、厚生労働省社会保障審議会委員、東京都子育て応援とうきょう会議メンバー等)

**安藤哲也氏**(NPO 法人ファザーリング・ジャパン代表、子育て応援とうきょう会議メンバー等)

区民との「協働協治」を掲げる文京区ですが、本格稼働はまだこれから。行政の意識を変えることが重要なのはもちろんですが、住民の方も変わらなければ一步を踏み出せません。変わるには何が必要なのでしょうか？他地域の実践事例も参考にしながら、一緒に考えてみませんか？



行政の思いと住民の思いは、なぜ、すれちがうの？

「お上としもじも」のままでいいの？

普通に話したいだけなのに、なぜか言葉が通じない

いろいろな人が集まると、寄せ鍋のようにいい味出せるんじゃない？

住民が主役で、アイデア出したほうがいいんじゃない？

主催: 文京の未来を育てる親子の会  
協賛: NPO 法人 IPP・住民メディア JIBUN  
後援: 文京区

問合せ先: 亀山(070 - 5566 - 9137)

会場費として100円程度のカンパをお願いいたします。